

製品名: ALS2CR11 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06811**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	ALS2CR11
別名	ALS2CR11; Amyotrophic lateral sclerosis 2 chromosomal region candidate gene 11 protein
遺伝子 ID	151254.0
SwissProt ID	Q53TS8
免疫原	抗血清はヒト ALS2CR11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540

背景

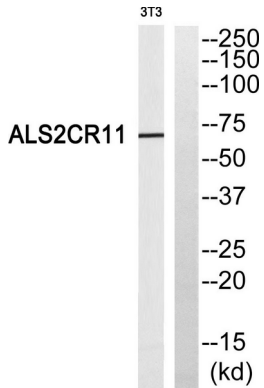
常染色体劣性遺伝性の若年性筋萎縮性側索硬化症 (JALSS) は、当初、この遺伝子を含む 2 番染色体の領域にマッピングされていました。コードされているタンパク質は、カルシウム依存性の膜標的 C2 ドメインを含んでいます。このドメインは、膜輸送やシグナル伝

達に関与するタンパク質によく見られます。[RefSeq 提供、2016年6月]

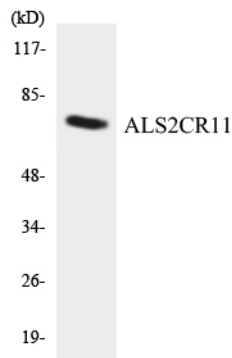
研究分野

-

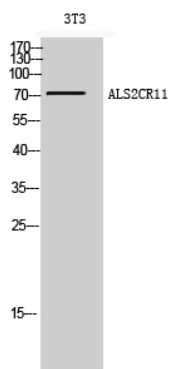
画像データ



ALS2CR11 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが ALS2CR11 ペプチドでブロッキングされている。



ALS2CR11 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット解析。



ALS2CR11 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析